

あなたと逢えて良かった
過去をやっと愛せた
頑張っ生きて来て良かった…



白石美帆



三田佳子



音無美紀子



鳥田順司



榎木さりな



スギちゃん



渡辺裕之

余命宣告をされた人たちが、人生最期に愛に包まれていく

自分では死ぬ場所も選べない時代の中、理想郷があった…

この映画は、身寄りのない方々を受け入れるホスピスでの物語です。不幸にも、余命宣告をされた人々。「最期まで寄り添い、本当の家族のような暖かい環境づくり」をめざす、ホスピスの看取り人たち。

連係を取りながら患者とホスピスを見守る大病院の緩和ケアの医師と看護師たち。そして、すべてを温かく包み込む南房総地元の人々。個々それぞれが毎日を一所懸命に生き、葛藤の中、歩み寄り、寄り添う姿。もし肉体がなくなったとしても、魂(愛)は心の中でずっと存在していく事、これが、この映画の大切なテーマになっています。

主演に白石美帆、そして三田佳子、音無美紀子、鳥田順司という名優を迎え、さらに野村真美、スギちゃん、高樹滂、榎木さりな、森岡豊、黒坂真美、小野寺丈、大林素子など個性あふれるキャストたちによって繰り広げられる、涙と感動のヒューマンストーリーです。

東京生活を後にし、20年ぶりに故郷・南房総鴨川に戻った柳原美穂44歳(白石美帆)。父を早くに亡くし、女手一つで育ててくれた母も亡くし、悲しい思い出が残る故郷であっても、穏やかな海と風と友、そして咲き誇る花畑に温かく迎えられる。もう一度、この故郷で生きようと決めた美穂は、身寄りのない人のホスピス「ほほえみの里」を開設する。看護師として病院に勤務していた美穂だが、突然、夫と息子二人を事故で亡くす。深い悲しみを背負いながらも、家族のように患者に優しく接する美穂に、皆、心を開き、慕っていた。ある日、患者のひとりが重体になり「家に帰りたいよ」と訴える。が、延命治療を希望する家族。どうとう家に帰ることなく、亡くなってしまふ。これが引き金になり、美穂は行動を起こす。「人は何のために生まれ、生き、そして死んでいくのか…」大切な人を失う度、美穂を悩ませてきた想い。その想いを抱え「ほほえみの里」はスタートした。



公式HP



予告編

【推薦】厚生労働省【協力】三菱UFJ信託銀行/日本ホスピスホールディングス株式会社/京阪電気鉄道/京阪バス株式会社/全日本空輸
【後援】日本看護協会全国有料老人ホーム協会/日本認知症グループホーム協会/高齢者住宅経営者連絡協議会/全国介護付きホーム協会
日本ホスピス緩和ケア協会/全国介護事業者連盟/千葉市【製作】FEEL PICTURES/ISSEY FILMS